

2016.07

スーリールファム通信



眠れる獅子 紀州・和歌山訪問

今じゃない、きつと大昔、そうだったように、そして、うんと遠い未来に実力を発揮する気がする。

そんな和歌山県です。

世界遺産、熊野古道。

暴れん坊將軍、吉宗の故郷。

自然への欲求甚だしい博覧強記の南方熊楠。

あとは…中上健次とか。

世界屈指のパンダの繁殖成功率。

ネコ駅長の和歌山電鐵。白浜リゾート。

私の中で和歌山に続くキーワードは甚だ貧弱で恥ずかしいかぎりです。

行ったことのない土地の中でもかなり、曖昧模糊としたイメージの地域なのです。

ごめんなさい。

2016年7月、まだ暑さがそれほどでもない和歌山を訪れました。

地元の皆様に案内いただき、めはり寿司、くじら、しらすを堪能。

さらに、鰯をいただきました！

梅肉をつけてサッパリといただく初夏の味。ここで味わえるとは。

「この辺はスーパーでも普通に骨切りした鰯が買えるんですよ」とのこと。

羨ましい限りです。

地方は何処も少子高齢化で活力の維持が大きな課題と言われて久しいですが、



特に和歌山では大学で他県に出て行って戻ってこない率が高いとのこと。

地元を本拠とする全国的なメーカーもありますが、時代や社会の変化による影響は深刻なようです。

また、女性の就業率が低い、といった問題も深刻のようです。

女性が働きやすい環境を整えれば六千人の労働力が確保できる試算があるとのこと、この「のびしろが大きい！」というポジティブな言葉も聞かれました。

海を前に明るい日差しのおかげ、お話をうかがっていても、あまり悲観的に感じない気がします。

人は温暖で明るいところに居ると希望も持ちやすいのかしら。

帰路、和歌浦をまわり、不老橋、東照宮、天満宮、対岸から臨む紀三井寺を見て帰路に

つぎました。

熊野古道や那智の滝、新宮などまでは、今回、まわれませんでした。が、蟻の熊野詣という言葉があるように、その昔は京都に近い霊場として多くの人が訪れた地。

またぜひ訪れたいです。次はさらに自然の濃い地域を見てまわりたいと思いました。



ビジネスホテルの朝食ビュッフェにも「めはり鰯」や「くじら」が登場！



地元の方おすすめラーメン屋さんへ。待っている間、一口サイズのサバずしをいただくそう。なんとも美味しい習慣だわ